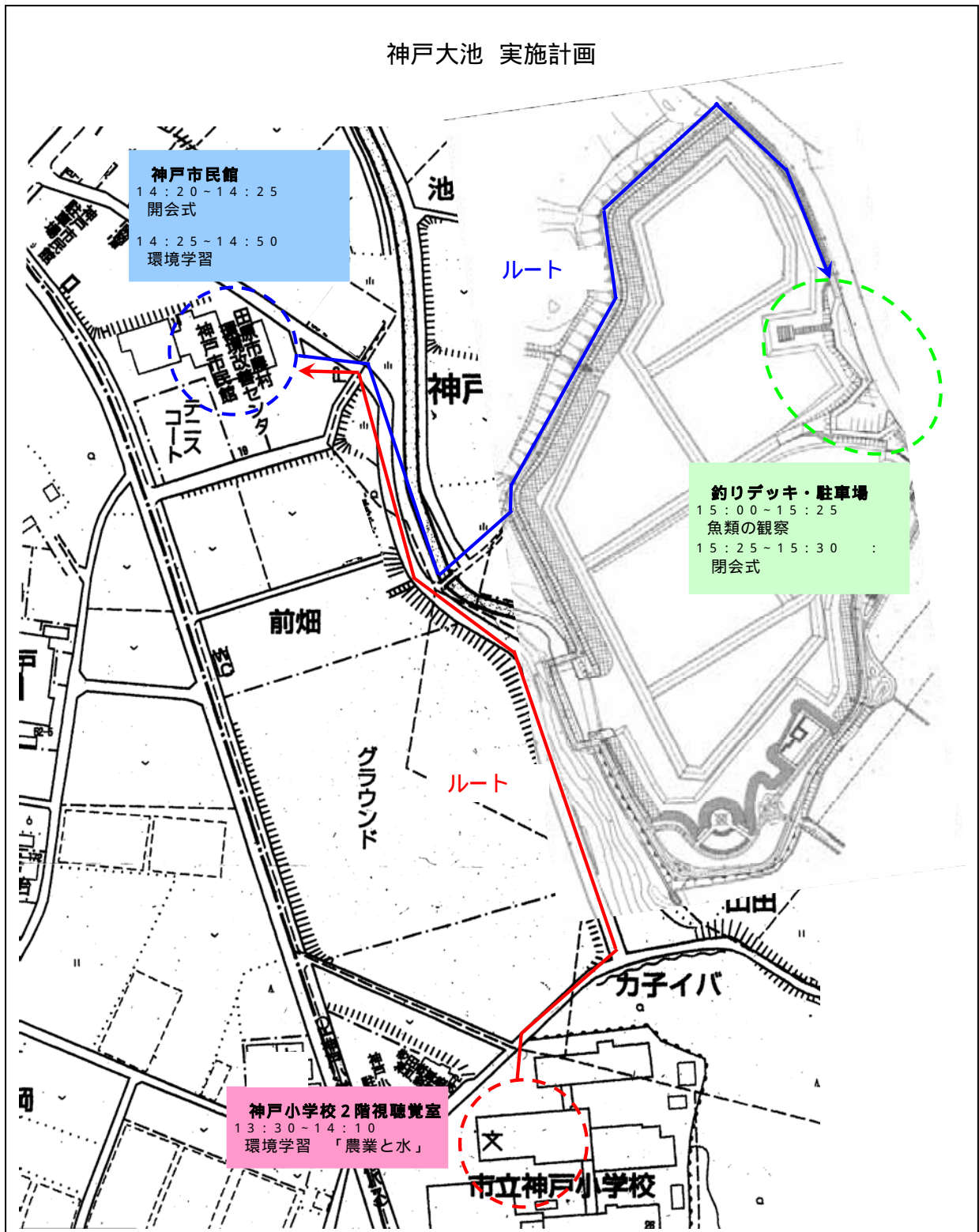


# 神戸大池 実施計画



イベントの様子（視聴覚室・市民館）



環境学習 「農業と水」  
パワーポイントを使って水の大切さを学びます



パケットテストによる簡易水質検査  
水で薄めた牛乳と水道水のCODを測定します



展示パネルの解説



展示パネルの解説



環境学習 「ため池の保全」  
ため池の水汲み、パケットテストでCODを測定します

イベントの様子（駐車場）



魚類の観察

雨降りでも子供たちは元気いっぱいです



魚類の観察

プラスチックの衣装ケースを代用

農業用水に、生物のすみかに

# ため池の役割肌で実感

## 田原で池干しと観察会

農業用水の供給や多様な生物のすみかとなる、ため池の機能を学ぶと、田原市神戸町の神戸大池で30日、地元の小中学生らが参加して池の水を抜く「池干し作業」と、そこに生息する水生生物などの観察会が開かれた。（加藤広宣）

池干しと観察会には、地元の神戸小学校4年生と保護者、地元住民らが参加。

池に仕掛けた垣引網とかい網にはコイやフナ、サリガニ等がかなり、水槽に移して多様な水生生物の営みを肌で感じた。

池干しに先がけ簡易水質検査も行い、水質の指標となるCOD（化学的酸素要求量）を測定。牛乳を混ぜた水は、池の水の5〜10倍汚れると、年々排水水が水質汚濁につながる仕組みを学んだ。

鈴木恭也君は50年以上もあるコイ水槽から抱えるげ、この年に大きな魚がいて驚いた。思ったより大きな生き物がいる」と興味を持った。

同イベントは県が10年前と比べ600減った。農家を中心に行っていた池干し作業も高齢化などで実施頻度が減っている。

「ため池の底方、みんな再発見」と題した保全事業で、11月までに大府市と三好町でも開催。県内のため池は現在約3000あるが、宅地造成が進んで10年前と比べ600減った。農家を中心に行っていた池干し作業も高齢化などで実施頻度が減っている。

見慣れない大きなコイを抱えて大はしゃぎの子どもたち。同

H20.10.1 東愛知新聞

天候が悪くても、子供達は屋外での活動を期待しています。安全に運営できるよう工夫は必要ですが、やはり目の輝きが違います。

## (2) 神池実施計画

開催日時：10月5日(日)午前10:00~12:00 雨天

会場：大府市立吉田小学校・神池

日 時	内 容	担当機関【人数】	必要資材
事前準備	(1)大府市広報に開催告知記事を掲載(H20.9.1号)		
	(2)吉田小学校への参加者募集(9/12) チラシを学校へ郵送、学校側で参加希望人数をとりまとめ、農地計画課に報告する(9/19) 農地計画課が参加者名簿を作成、参加児童・保護者の傷害保険加入手続をする(10/3までに手続完了)	吉田小学校 農地計画課	チラシ 430部
	(3)関係者最終打合せ(9/18) 防災ダム事業工事説明会に併せて、イベント実施計画概要を説明、当日の作業分担、スケジュールなどを最終確認する	農地計画課 農総試 知多農林 大府市 地元役員 請負業者	
	(4)当日の救急指定病院を確認する	大府市	
準備作業 10月4日	(1)【池内】落水準備 取水塔の最下口を開けて落水する 水替ポンプにより排水し、魚が死なない程度まで落水しておく 【進入口】のネットフェンス(3スパン程度)を撤去する	知多農林【3】 請負業者 地元役員	水替ポンプ
	(2)【池内】の準備 PPシート・木板により、水際に足場を設置する ピンポール・ビニル紐で立入禁止区域を表示する シート押さえ用の土のうを準備する	農地計画課【3】 農総試【4】	PPシート 木板 ピンポール ビニル紐 土のう 20程度
	(3)【進入口】の準備 通路の草刈りをする		鎌 スコップ
	(4)【観察水槽】生物の捕獲 たもアミ、コドラードネットなどを使って観察水槽用の生物を捕獲する 捕獲した生物は、タライに入れて養生する タライの保管場所は学校敷地内		たもアミ・コドラードネット・タライ・エアポンプ・ポリタンク
	(5)翌日の準備作業の確認 翌日の準備作業、資材の設置位置、子供達の動線、各自の持ち場などを現地で最終確認する	農地計画課 農総試 知多農林 大府市 地元役員 請負業者	
その他	イベント実施状況の記録	農地計画課【1】	カメラ
	新聞・テレビなどマスコミ対応	農地計画課【1】	

## イベントの準備（前日）

**ため池の底力  
みんなで再発見！**

県農地計画課排水対策グループ  
☎052(954)6432

▼日時 10月5日(日) 午前10時～正午

▼場所 神池（吉田町四丁目）

▼内容 ため池の水を抜き、そこに生息する生物の種別や実態を把握します。また、ため池保全についてのパネル展示も行います。

▼持ち物 汚れてもよい服装

▼その他 駐車場はありません。



生物の捕獲

「広報おおぶ」に開催告知記事を掲載



仮設足場

イベントの間1～2時間程度の耐久性



市道の通行止め

堤防道路が市道なので、道路使用の許可も必要です



参加者への注意喚起(1)

外来種の取扱いについて掲示しています



参加者への注意喚起(2)

池の周囲の状況によっては、道路の使用許可や泥で汚したりしないようにといった配慮が必要となります。

日 時	内 容	担当機関【人数】	必要資材
準備作業 10月5日	(1) 【 池内】落水準備 水替ポンプにより、魚つかみが実施可能な水位に調整する	知多農林【3】 請負業者	水替ポンプ
	(2) 【 外来種駆除】の準備 ザル、ポリバケツ大3を準備する 駆除量（ポリバケツ 杯、 匹）「一番の大物」を測定、記録するための記録用紙（耐水紙）・筆記用具を準備する 外来種運搬用車両を準備、配置する	農総試【4】  請負業者	ザル、ポリバケツ大・コンベックス・記録用紙 筆記用具 電卓 トラック(2t)
8：00    9：45	(3) 【 進入口】の準備 進入口付近にPPシート・土のう、児童の足洗い用のバット大を敷設する 足洗い用の水をポリタンクに汲み置く	農地計画課【2】	PPシート 土のう バット大 ポリタンク
	(4) 【 プール】の準備 はかり、バケツ・魚洗い用タライ・ザルを設置する ブルーシート、PPシート、土のう、椅子2脚で、児童の放流作業スペースを造る（プールサイドでの活動範囲を制限するバリケード） プールへの放流量（ 匹）「池の主」を測定し、報告する記録用紙（耐水紙）筆記用具を準備する タライにはプールの水を汲み置く	農総試【4】	ブルーシート 土のう タライ・ポリタンク・バット大・ザル・PPシート・コンベックス・記録用紙筆記用具 土のう 電卓 椅子2脚
	(5) 【 観察水槽】の準備 長机の上に水槽を設置し、前日捕獲した生物を展示する		水槽・エアポンプ 長机3脚
	(6) 【 啓発パネル】の準備 啓発パネルを堤体上ネットフェンスに番線で固定、展示する		啓発パネル 番線
	(7) 【 救護係】の準備 堤体上の木陰にブルーシートを敷設、椅子5脚を設置する 病人・けが人があれば、木陰に設置したブルーシート・椅子で対応（雨天の場合は、プール付近に配置したワンボックスカーを利用）	計画課【2】	救急箱ブルーシート・土のう・ワンボックスカー 椅子5脚程度
	(8) 【市道通行止め】の準備（2箇所） Aバリを設置し市道2箇所を通行止めとする 請負業者で、通行止め2箇所の交通整理、通過車両を誘導する	知多農林【3】 請負業者	Aバリ2箇所

イベントの準備（当日）



展示水槽  
前日捕獲したフナを展示



展示水槽  
前日捕獲したスジエビを展示



外来種の仕分け・駆除に使用した資材



啓発パネルの展示  
堤体のフェンスに番線で固定



開 会 式

日 時	内 容	担当機関【人数】	必要資材
10月5日 10:00	開会式 参加者を堤体上に誘導し、取水塔を壇上として、開会式を行う (1)農地計画課あいさつ (2)地元役員代表あいさつ (3)作業要領 注意事項ガイダンス	司会進行： 農地計画課【1】	拡声器 マイク スピーカー
10:20	参加者移動 魚つかみに参加する児童を、【 荷物置場】経由で、余分な荷物を持たせずに、【 進入口】に誘導する	誘導：農総試【2】	児童用バケツ
10:20 11:10	魚掴み 地元役員・スタッフは、たもアミ、コドロードネットなどを使って魚類を捕獲し、作業を補助する 11:10になったら、笛の合図により、その時点までに捕獲した魚をプールに運び、作業を終了する	農地計画課【2】 農総試【2】 地元役員 請負業者	胴長・コドロードネット・たもアミ 笛
	外来種駆除 【 外来種駆除】のスタッフは、参加者が運んでくる魚をザルに受け、外来種をより分け、ポリバケツ大に集積する 駆除量（ポリバケツ 杯、 匹）「一番の大物」を記録する 外来種がポリバケツにある程度溜まったら、運搬用車両に移動する	農総試【2】 知多農林【2】 請負業者	ザル、ポリバケツ大・コンベックス・記録用紙 筆記用具 電卓 トラック(2t)
	魚をプールへ放流 【 プール】のスタッフは、参加者が持ってきた魚をザルに受けて泥を洗い落とす。 参加者が申告する放流数（ 匹）を記録する 参加者は洗った魚をプールへ放流する プールサイドをなるべく汚さないよう注意する 「池の主」を測定、記録する 泥水がプールに入らないように注意する 弱った魚はプールに入れないよう注意する	農総試【2】 農地計画課【2】	タライ・ポリタンク・バット大・ザル・PPシート・コンベックス・記録用紙・筆記用具